

中京大学大学院

人文社会科学研究科 法・政治学専攻 法学領域

修士課程

税理士選抜

【専門科目】

租税法に関する小論文

試験時間90分(10:00～11:30)

《受験上の注意事項》

一般注意

- ① 受験票は、机の右上に置いてください。
- ② 指示があるまで問題を開かないでください。
- ③ すべての解答用紙に、受験番号と氏名を正しく記入してください。
- ④ 解答は、必ず解答用紙に記入してください（問題用紙に記入しても採点されません）。
- ⑤ 問題文中に特に指示がない場合は、日本語で解答してください。
- ⑥ 試験中は監督者の指示に従ってください。
- ⑦ 試験中、質問等がある場合は、手を挙げて監督者に申し出てください。
- ⑧ 試験終了の指示があったら、ただちに解答用紙への記入をやめてください。
- ⑨ 配付した問題用紙は、すべて回収します。

問題について

- ① 問題用紙は本紙を含め全2枚あります。開始の合図があったら、まずすべての枚数がそろっているかを確認し、乱丁・落丁がある場合は、手を挙げて監督者に申し出てください。
- ② 解答用紙は3枚あります。解答用紙の上部に問題番号を印字していますので、解答する問題番号をマルで囲んだ上で解答を記入してください。各問題の解答用紙が2枚以上になる場合は、問題番号横の〈No.〉に数字を記入してください。
- ③ 解答用紙が不足する場合は、必要枚数分の解答用紙を渡しますので、手を挙げて監督者に申し出てください。

机の上に置いて良いもの

- 受験票
- 筆記用具
- 時計（時間を計る以外の機能が付いたものは不可）

※これらのもの以外はカバンの中に入れ、床に置いてください。眼鏡、薬、ハンカチ等を机の上に置くことを希望する場合は、監督者に申し出てください。

〔Ⅰ〕は必須問題、〔Ⅱ〕～〔Ⅴ〕は選択問題である。

〔Ⅱ〕～〔Ⅴ〕から2問選択し、解答せよ。なお、3問以上解答することはできない。
(3問以上解答した場合は、選択問題の解答を無効とする。)

〔Ⅰ〕～〔Ⅴ〕の解答には字数制限を設けない。

【租税法基礎】

〔Ⅰ〕租税法の基本原則である租税法律主義について、憲法の条文を用いて、説明しなさい。

【法人税法】

〔Ⅱ〕法人税法上の「所得」について、企業会計上の「利益」と比較してそれぞれの計算の過程を示しながら、説明しなさい。

〔Ⅲ〕青色申告制度を利用している中小法人への税制上の優遇措置について説明しなさい。

【所得税法】

〔Ⅳ〕所得税の計算における「収入金額」または「総収入金額」について、

①所得税法36条ではいかに規定されているか 及び

②その年度帰属について 説明し、あわせて年度帰属が税の観点から問題となる理由について述べなさい。

〔Ⅴ〕令和7年の税制改正のうち、①所得税に関わる基礎控除及び給与所得控除の引き上げと②基礎控除の上乗せ特例の創設についてその趣旨とともに知るところについて述べなさい。

また、③給与所得控除については、その趣旨についても説明しなさい。